



教育委員会風景

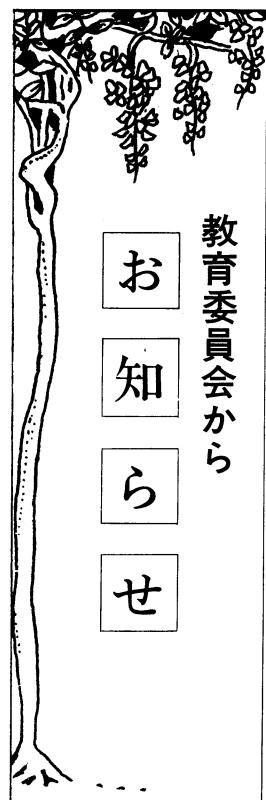
教育委員会から

お
知
ら
せ

四月定例教育委員会開かる

昭和五十三年度四月の定例教育委員会は、四月十三日に開催されました。その内容は次のとおりである。

いわき	相双	会津	県南	県中	県北	管内
いわき	双相葉馬	兩耶会津沼麻津	北白河	田石岩郡村川瀬山	安伊信達	昭和五十三年度福島県婦人教育指導員
柳沼	志鈴木ヨシハナ	佐別吉田渡辺トシ子	西白河	有坂佐藤光米子	梅津尚絹子	第一号 福島県体育施設条例施行規則の一部改正について
美枝	五十嵐トク子	順俊トヨ	東白川	佐藤マサ子	梅津尚絹子	第二号 公立小・中・養護学校教職任命承認について
いわき市好間町	双葉馬市石上	会津喜多方市宇花園	西白河郡常葉町	郡山市日和田町	伊達市上名倉	第三号 公立小・中・養護学校教職公益法人の設立許可について
		南会津郡会津坂下町	東白河郡棚倉町	須賀市石川町	伊達郡伊達町	第四号 福島県婦人教育指導員の委嘱について
				郡山市日和田町	本松市根崎	第五号 昭和五十三年度福島県婦人教育指導員の委嘱について
						第六号 員の退職勧奨状況について



員の退職勧奨状況について
第五号 県立学校教職員の退職勧奨状況について
第六号 教育指導員の委嘱について

五十三年栄ある春の叙勲者

昭和五十三年春の本県関係叙勲者は次のとおりである。
○学校教育関係 ◇勲四等旭日小綬章
△勲四等旭日小綬章

高校進学率九〇%台に迫る

53入試結果を教育長記者発表

本年度、県立高等学校の入試結果については、去る四月十七日、教育委員室において、教育長の記者発表が行われた。

これによると全曰制は、定員二万二千六百人に対し実受検者は二万七千二百六十一人で、競争率は一・〇六倍、定時制は、定員八百六十人に対し受検者は三百二十三人で競争率は〇・三倍となり、史上最も広い門となつた。このため、高校進学率は私学分をふくめるとほぼ九〇パーセント台に近づくものとみられている。

成績の面では、二百五十点満点で受検者の平均点は百四十五・九点、最高得点は二百五十点であった。更に各教科の平均点は、国語三十三点、社会二十八・三点、数学二十七・一点、理科二十九・四点、英語二十八・四点であった。また、各問正答率の分析によれば、受検者は基本的事項の知識・理解に対してはよい成績を示したが、応用力や論理的思考力を要求される問題に対しても弱点をもつてゐることが明らかにされた。

- 細川昌男 神奈川県川崎市多摩区平一〇九三
- 大和田道隆 ◇勲四等旭日小綬章
- いわき市平字旧城跡四
- 菅沼保之 ◇勲五等双光旭日章
- 津口信男 ◇勲五等双光旭日章
- 東京都世田谷区宮坂一一一四
- 河沼郡柳津町一王町甲四一
- 大和田道隆 ◇勲五等双光旭日章
- 伊達郡桑折町陳屋四一一七
- 伊達郡桑折町陳屋四一一七
- 草野信 ◇勲五等双光旭日章
- 原町市二見町二一六五一一
- 遠藤勉 ◇勲五等双光旭日章
- 東白河郡棚倉町鷹匠町二二三
- 河沼郡柳津町一王町甲四一
- 伊達郡桑折町陳屋四一一七
- 伊達郡桑折町陳屋四一一七
- 渡辺半二 ◇勲五等瑞宝章
- 田村郡船引町今泉字惣太郎一一六
- 保健体育関係
- 勲五等瑞宝章
- 阿部信 京都府北区上賀茂本山三三九